

令和7年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類	授業担当者
保育内容指導法・音楽表現				演習	倉科深陽
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
1	1	30	15	後期	幼免：選択必修 保育士：選択必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期に育みたい資質・能力を理解し、音楽表現活動のねらい及び内容について理解を深め、援助に必要な知識や技能を習得する。 ・乳幼児の発達や学びの課程を理解し、音楽表現の具体的な指導場面を想定した保育者の援助の方法と保育の構想を身につける。 					
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容の各領域を総合的に捉え、音楽表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や保育者の援助、指導法を学ぶ。 ・音楽表現の実際を学びながら模擬指導の経験を重ね、ドキュメンテーションやポートフォリオなどを作成し、過程を踏まえた具体的な指導に活かす方法を学ぶ。 					
<p>[受講上の注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回までの課題を消化し、授業に臨むこと。 ・提出物は期限内に必ず提出すること。 					
<p>[使用テキスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現者を育てるための保育内容「音楽表現」-音遊びから音楽表現へ- (教育情報出版) ・幼児のための音楽教育(教育芸術社) ・幼児の歌110曲集(エー・ティー・エヌ) ・その他楽譜、プリント等 				<p>[評価基準]</p> <p>試験 40%、課題の取り組み 30%、授業の課題(レポート、提出物等) 30%</p>	
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	開講にあたって		ガイダンス		
2	領域「表現」とは		乳幼児における「表現」と音楽表現について		
3	乳幼児期の発達と音楽表現①		乳幼児期の発達と表現の特性を理解し、表現活動において育みたい資質・能力について考える		
4	乳幼児期の発達と音楽表現②		聴く力の発達と歌唱表現の始まりについて		
5	身体の動きや五感を使った表現		活動の面白さや特長を探り、ディスカッションする		
6	情報機器と教材の活用法		保育への活用法について		
7	視覚教材の活用		歌詞のイメージを深める視覚教材について		
8	模擬歌唱指導①		各自研究決定と計画、指導案作成		
9	模擬歌唱指導②		各自が保育者となり、模擬指導の実践後研究会、講評		
10	模擬歌唱指導③		各自が保育者となり、模擬指導の実践後研究会、講評		
11	音遊びの指導法		身近なものから起こる音や素材の特質を活かした音の表現活動		
12	音遊びから楽器指導へ		模擬指導をおこない、振り返りを通して活動の改善を考える		
13	ドキュメンテーションやポートフォリオの作成		ドキュメンテーションやポートフォリオを作成し、振り返りを通して活動の改善を考える		
14	音楽表現活動の連続性		乳幼児期の表現と小学校のさまざまな教科との学びの連続性		
15	定期試験		まとめと試験		
実務教員としての経歴					
実務経験と授業の関連					